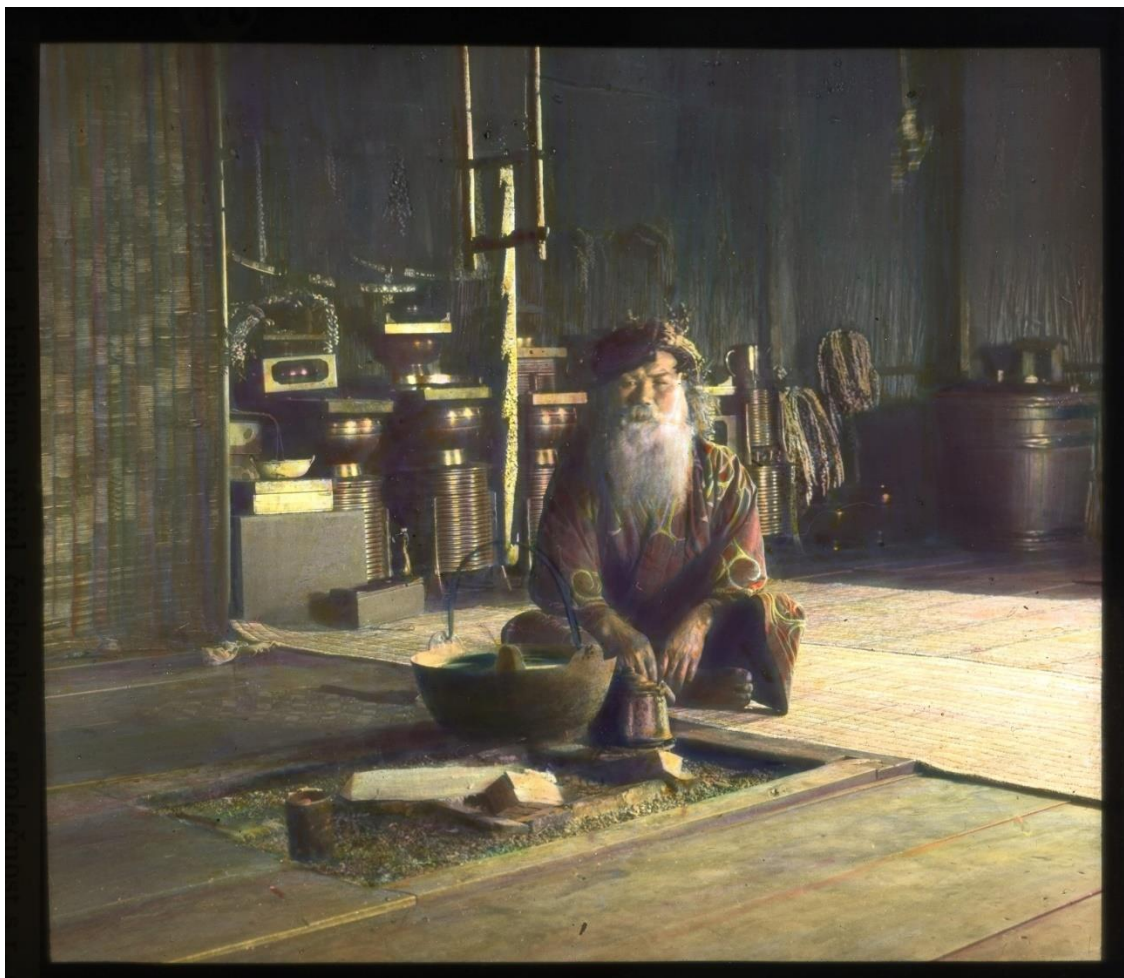


《展示のご案内》



チェコの旅行家たちの目に映った近代日本

2023年2月6日（月）～3月20日（月） / チェコセンター東京（渋谷区広尾）

19世紀末から20世紀初頭にかけて日本を旅したチェコの旅行家たち。彼らの目に、日本はどのように映っていたのでしょうか。また、ほかのメディアがなかったこの時代に、祖国に戻った後どのように日本のイメージを作っていたのでしょうか。本展では、貴重な写真を通して、当時のチェコ人から見た日本の姿をご紹介します。3月6日（月）には**キュレーターによるギャラリートーク**も行います。

[詳細はこちら（チェコセンター東京ウェブサイト）](#)

チェコセンター東京

150-0012 東京都渋谷区広尾2-16-14

T+81 (0)3-3400-8129

cctokyo@czech.cz

tokyo.czechcentres.cz

チェコセンターはチェコ外務省の外郭団体です。

広報や文化交流を通じてチェコの文化を世界中に広めることで、外交活動の中心的役割を担っています。

現在、世界4大陸26都市に支局を展開し活動しています。

京都や日光ばかりではない、
アイヌの生活も、
震災で廃墟と化したと横浜も、
彼らが見た。

ヨゼフ・コジェンスキー、ジョエ・ホロウハ、あるいはバルボラ・マルケータ・エリアー・ショーヴァー。19世紀末から20世紀初頭に向け、日本を訪れたチェコの旅行家たちは、祖国へ戻ったあとに自身の体験を熱心に文書に残し、語りました。彼らの記事や本、あるいは講演会では、はるか遠い“日出ずる国”を紹介するために、言葉だけではなく、自ら撮影した写真や複製写真などの画像が用いられました。ほかのメディアが存在していなかった時代、主にこうした画像をもとにチェコの読者・聴衆が日本を“目にした”のです。本展「**チェコの旅行家たちの目に映った近代日本**」では、ナールプステク博物館の写真コレクションを展示し、チェコの旅行家たちが日本で何を見たのか、どのように日本のイメージを作っていたのかをご紹介します。

開催概要

- **会期**：2023年2月6日（月）～3月20日（月）
※ 土日・祝日は休館となります。
- **開館時間**：10:00～19:00
※ 2月17日（金）のみ17:00に閉館いたします。
- **会場**：チェコセンター東京
150-0012 東京都渋谷区広尾2-16-14（チェコ共和国大使館内）
- **入場無料**
- **主催**：チェコセンター東京
- **キュレーター**：ブルナ・ルカーシュ

ギャラリートーク

本展のキュレーターであるブルナ・ルカーシュ氏をお招きし、**展示解説（日本語）**を行います。

- **日時**：2022年3月6日（月）18:30～
- **参加無料**、[お申込みはこちら](#)

チェコセンター東京

150-0012 東京都渋谷区広尾2-16-14

T +81 (0)3-3400-8129

cctokyo@czech.cz

tokyo.czechcentres.cz

チェコセンターはチェコ外務省の外郭団体です。

広報や文化交流を通じてチェコの文化を世界中に広めることで、外交活動の中心的役割を担っています。

現在、世界4大陸26都市に支局を展開し活動しています。